

保育理念や保育目標は入園のしおりやパンフレット、重要事項説明書に明記されています。入園時には重要事項説明書の内容を丁寧に説明をし、利用者がその内容を理解して同意して頂けるという体制を整えています。苦情等の相談窓口がある旨も書かれていて園内に掲示されていますが、今回の利用者アンケートによると「いいえ」の回答もあったので、周知方法についての必要性を感じました。

「保健計画」を作成し、子どもの健康状態や発育・発達状態、疾病を把握して安全な保育に努めています。嘱託医と連携し内科検診を年2回行う際には、事前に問診票を利用して保護者からの質問や悩みを聞き取り嘱託医に相談をして丁寧に対応をし信頼関係の構築に努めています。日々子ども達の健康状態を把握し、感染対策として発生の予防に努めて消毒を徹底し、発生時には掲示やメールを使い注意喚起を行い拡大予防に取り組んでいます。

年齢に応じた保育環境の整備に取り組み、安心して安全な環境を通して、生活や遊びが豊かに展開するように努めています。子ども達は様々な体験を通して、豊かな感性を育てています。職員による手作り玩具などが子どもの目線に合わせて設置され、子どもの成長や季節に合わせて取り替えています。年齢に合わせているだけでなく、個別の成長や興味関心のある物を保育者が察知して用意をし、子ども一人ひとりの発達や成長に即した遊びが展開されることで保育目標の実現につながっていくと思います。

成長の過程で生じる子ども同士のトラブルには、双方の気持ちを大切にし個々の様子を見極めて対応し援助しています。個性を尊重し、個々の発達に合わせた保育に取り組む努力をしています。積極的にブログを更新し、園での様子を伝えて保護者が安心して仕事に携われるように配慮しています。「意見箱」が設置され保護者の意見や要望にすぐに対応できるようにしています。

園庭だけでなく近隣の公園にも恵まれ、積極的に活用して自然物や自然事象に触れる機会が多くあります。年齢や目的に応じて季節の移り変わりを五感で感じられるような日々の計画を組み立てています。

保育園利用の家庭はもちろん地域の子育て家庭の子育て支援に取り組んでいます。保護者参加の行事はコロナ対策を取りつつ出来るだけ開催をして、保護者と共に子どもの成長を喜び合い実感しています。保護者の相談には丁寧に対応をし、希望があれば時間を作って面談を行っています。支援及び養護が必要な家庭には、関係機関と連携を図りながら対応しています。地域支援事業として「ポコアポコ」を開催し、育児相談や離乳食の相談・独自保育の体験や年齢に合わせた遊びの展開等伝えています。園の有する機能を地域に提供しています。

園長は年に2回職員と面談を行い、職員の想いを聞き取り主体的な創意工夫が出来るように促し、気になる事・改善が望まれる事はきちんと伝えて保育士としての資質向上に努めています。自己評価表による目標設定など人材育成が整い、自己の保育方法について振り返る仕組み作りも行われ、職員一人ひとりが役割を認識し、日常的に互いの言動を確認し合い、気づきを得ることでより高い保育実践や資質向上につながっています。

(学) 有馬学園  
ソレイユナーサリー高津東  
施設長 坂口明美